平成 28 年 4 月 25 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 リ プ ロ セ ル
代 表 者 名　代 表 取 締 役 社 長　横 山　周 史
（コード番号：4978）
問 合 せ 先　取締役経営管理部長　帯 田　大 悟
（TEL. 045-475-3887）

当社と慶応義塾大学、順天堂大学による共同事業「iPS 細胞由来神経細胞を用いた創薬支援のためのアプリケーション開発」の横浜プロジェクト採択に関するお知らせ

この度、当社と慶応義塾大学、順天堂大学による共同事業「iPS細胞由来神経細胞を用いた創薬支援のためのアプリケーション開発」（以下「本共同事業」）が京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区「横浜プロジェクト」に採択されましたのでお知らせいたします。

本共同事業は、神経疾患治療薬の創薬スクリーニングに使用可能な培地・試薬、iPS細胞由来神経細胞、観察用デバイス等を最適に組み合わせた創薬支援アプリケーションの開発を目的としております。

現在、アルツハイマー病やパーキンソン病など、神経疾患に関する医療ニーズが高まっている中で、既存の薬剤の治療への貢献度は高いとは言えず、新薬の開発に大きな期待が寄せられております。そんな中、ヒトiPS細胞の発明によって生きたヒトの神経細胞が比較的手軽に入手可能となりましたが、これらを用いた新薬候補物質の評価には複雑な試験系を用いらなければならない等、製薬企業内での本格的な導入には課題も残されております。

本共同事業にて製薬企業が使用しやすいアプリケーションを開発し、ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた新薬の開発を普及させることにより、新薬開発の期間短縮や低コスト化が進むこととなり、新薬を必要とする患者へ効果的な薬剤をより早く届けることが可能となります。また、当社製品を採用したアプリケーションを開発し普及させることにより、創薬スクリーニングにおいて将来的に優位な地位が確立できる事も期待されます。

現在、既に東京女子医科大学との共同事業「産業的な使用に足る iPS 細胞由来心筋細胞の安定大量培養技術の開発と、機能的心筋組織モデルの構築」も同プロジェクトに選定されており、本共同事業は 2 件目の採択となります。当社では今後より一層ヒト iPS 細胞由来の機能性細胞を活用したプロジェクトを推進して参ります。

以上

